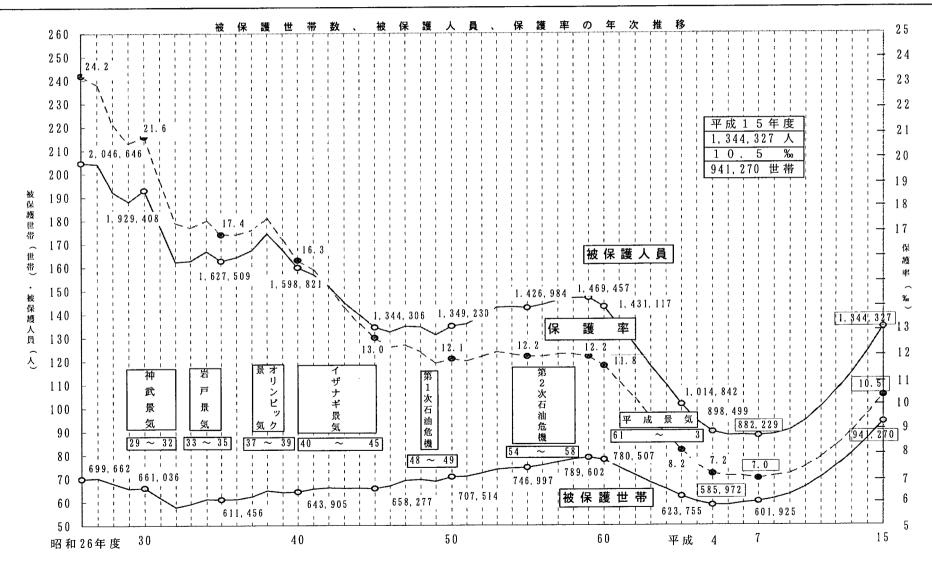
社会保障審議会 - 福祉部会 第14回(H17.2.9) 資料2

生活保護制度関係資料

Ι). -	生活保護制度の在り方に関する専門委員会	報告書	説明資料	
	1	生活保護の動向について			1
	2	生活保護基準の在り方について			4
	3	自立支援プログラムについて			1 1
Π	3	平成17年度生活保護関係予算案			2 1

- 上生活保護制度の在り方に関する専門委員会 報告書 説明資料
- 1. 生活保護の動向について
- 生活保護の被保護者は平成16年10月現在で142万8千人。保護率は人口千人あたり11.2人(11.2%)
- 被保護者数は昭和60年以降減少傾向にあったが、高齢化の進展や景気後退の影響等を受けて、平成7年以降増加傾向



資料:福祉行政報告例

世帯類型別被保護世帯数の推移

平成15年度の総世帯数は94万世帯であり、

- 構成割合でみると、約半数(46. 4%)が高齢者世帯である。
- 過去8年間の伸びをみると、高齢化の影響を受け高齢者世帯が増加し、また、 不況の影響から、母子・その他(50歳代単身者等)世帯も増加している。

					平成7年度	構成割合(%)	平成15年度	構成割合(%)	- 増加率
総				数	600,980	100.0	939,733	100.0	156.4%
高	婚令	者	世	帯	254,292	42.3	435,804	46.4	171.4%
母			世	帯	52,373	8.7	82,216	8.7	157.0%
傷障	病 害	者	者世	帯	252,688	42.0	336,772	35.8	133.3%
そ	の	他	世	帯	41,627	6.9	84,941	9.0	204.1%

資料:福祉行政報告例

雇用関係指標及び被保護人員対前年同月比の推移

	完全失業者数	完全失業率	有効求人倍率	被保護人員対前 年同月比(指数)
	千人	%	倍	
平成15年平均	3,500	5.3	0.64	108.2
平成16年 1月	3,230	5.0	0.77	107.7
平成16年 2月	3,300	5.0	0.77	107.6
平成16年 3月	3,330	4.7	0.77	107.6
平成16年 4月	3,350	4.7	0.77	107.3
平成16年 5月	3,190	4.6	0.80	106.8
平成16年 6月	3,090	4.6	0.82	106.6
平成16年 7月	3,180	4.9	0.83	106.2
平成16年 8月	3,140	4.8	0.83	106.2
平成16年 9月	3,090	4.6	0.84	105.9
平成16年10月	3,110	4.7	0.88	105.6

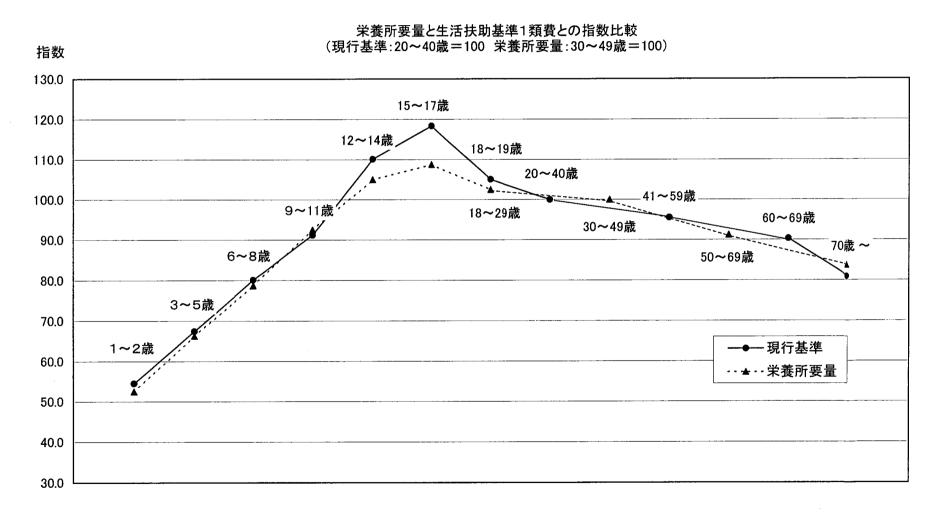
資料:労働力調査(総務省)、職業安定業務統計、福祉行政報告例(速報値)

※完全失業率及び有効求人倍率の月別推移は季節調整値である。

2. 生活保護基準の在り方について

1 類費の設定方法について

- 現行の第1類費基準額の年齢差は、主に各年齢ごとの栄養所要量を参考とし、エネルギー摂取に必要な飲食物や衣類等の個々の費目を積み上げて基準額を設定する方式を採用していた当時の格差で固定されている。
- 現在の1類費は、前年度の年齢別基準額に改定率を乗じて改定しているため、現在においてもその当時の年齢格差が維持されている。



多人数世帯の消費実態について

- 〇 4人以上世帯の生活扶助基準と一般低所得世帯の消費実態を比較すると、生活扶助基準の方が割高となっている。
- 〇 これは、生活扶助基準が第1類費(個人的経費・人数分を単純に加算して算定)と第2類費(世帯共通的経費・スケールメリット を反映して設定)の合算で算定されるため、人数が増すにつれ第1類費の比重が高くなり、スケールメリットの効果が薄れる結果、 多人数になるほど基準額がより高くなることが原因である。

(参考1)

家計調査特別集計及び全国消費実態調査特別集計による世帯人員別消費支出額(勤労世帯)

(1) 勤労世帯(全国、平均)

(月平均・単位:円)

		3人世帯	指数	4 人世帯	指数	5人世帯	指数
生	活扶助相当支出額	230, 071 円	100.0	251,616 円	109. 4	267, 857 円	116. 4
	1 類費相当支出額	141,817 円	100.0	160,045 円	112. 9	171,084 円	120. 6
	2 類費相当支出額	88, 254 円	100.0	91,572 円	103. 8	96,773 円	109. 7

注)指数は3人世帯を100とした場合のもの。以下同じ。

(2) 勤労世帯(全国、第I-5分位)

(月平均・単位:円)

-		3 人世帯	指数	4 人世帯	指数	5人世帯	指数
生	活扶助相当支出額	157, 709 円	100.0	167, 764 円	106. 4	175,716 円	111.4
	1 類費相当支出額	95, 305 円	100. 0	104, 641 円	109.8	110,645 円	116.1
	2 類費相当支出額	62, 404 円	100.0	63, 122 円	101. 2	65,070 円	104. 3

資料) 2人世帯~5人世帯:家計調査特別集計(平成8年~12年平均)

単身世帯:全国消費実態調査特別集計(平成11年)

(参考2)

現行の生活扶助基準における世帯人員別換算率(マルチプル)

	3 人世帯	4 人世帯	5人世帯
第1類費	100. 0	133. 3	164. 7
第2類費	100. 0	108. 8	109. 6

注) 第1類費については、年齢別に基準額を設定しており、人員別マルチプルを用いてはいないが、ここでは 比較のために、被保護者全国一斉調査(個別)結果による世帯人員ウエイトから試算を行ったものである。

母子加算について

母子加算の概要

趣旨	一方の配偶者が欠ける状況にある者等が児童を養育しなければならないことに伴う 特別な需要に対応するもの。(昭和24年創設)
対象者	父母の一方若しくは両方が欠けているか又はこれに準ずる状態(※)にあるため、 父母の他方又は父母以外の者が児童(18歳に達する日以後の最初の3月31日までの 間にある者)を養育しなければならない場合に養育に当たる者 ※ これに準ずる状態:父母の一方又は両方が常時介護又は監護を要する 身体障害者又は精神障害者である場合等
基準額 16年度・月額 児童1人の場合	① 在 宅 者 1級地:23,260円 2級地:21,640円 3級地:20,020円 ② 入院·入所者 19,380円(各級地共通)
適 用 件 数	88,224件(平成15年7月1日現在:被保護者全国一斉調査)

母子世帯における消費実態と生活扶助基準との比較について

(1) 母子世帯(全国、平均)

(月平均・単位:円)

	-			全 世 帯			
				母子・子供1	人	母子・子供 2	人
年	間収	八	額 ÷ 12	314, 115	円	382, 690	円
消	費支	出	額	218, 596	田	237, 460	円
生》	舌扶助	相当	支出額	130, 310	H	144, 772	円
	1類	貴相当	4支出額	77, 439	Ή	87, 373	円
	食	料	費	49, 871	H	58, 087	円
	Ι	ンゲル	レ係数	22. 8	%	24. 5	%
	2類	支相当	4支出額	52, 871	円	57, 399	円

勤	労	世	帯		
母子・子供1/	7	母	子・・	子供 2	入
308, 579	円		350	, 220	円
204, 876	円		221	, 177	円
121, 061	円		138	, 841	円
73, 001	円		85	, 208	円
46, 819	Ħ		5	7, 839	Ħ
22. 9	%			26. 2	%
48, 060	円		53	, 633	円

(2) 母子世帯(全国、第1-5分位)

(月平均・単位:円)

		全 世 帯		
		母子・子供1人	母子・子供2人	
年	間収入額÷12	105, 685 円	98, 306 円	
消	費支出額	123, 581 円	153, 647 円	
生	舌扶助相当支出額	85, 999 円	103, 839 円	
	1 類費相当支出額	51, 318 円	61, 295 円	
	食 料 費	37, 071 円	45, 042 PI	
	エンゲル係数	30.0 %	29. 3 %	
	2 類費相当支出額	34, 681 円	42, 544 円	

勤	労	世帯	
母子・子供1	人	母子・子供2.	人
108, 692	円	106, 087	円
117, 143	円	151, 456	円
78, 626	円	104, 049	円
46, 754	円	62, 726	円
33, 591	円	46, 984	円
28. 7	%	31. 0	%
31, 872	円	41, 323	円

	生活扶助基準額			
	母子・子供1人	母子・子供2人		
生活扶助	138, 084 円	179, 274 円		
1 類費	69, 621 円	103, 780 円		
加算	21, 998 円	23, 747 円		
(小 計)	91, 619 円	127, 527 円		
2 類費	46, 465 円	51,747 円		
再揭:除加算	116,086 円	155, 527 円		

(3) 母子世帯(全国、第1-10分位)

	全 t	世帯		
	母子・子供1人 母子・子供			
年 間 収 入 額 ÷ 12	76, 667 円	67, 500 円		
消費支出額	111, 499 🖽	165, 236 円		
生活扶助相当支出額	78, 733 円	110,720 円		
1 類費相当支出額	48, 494 PJ	65, 271 円		
食料費	36, 709 円	49, 577 PI		
エンゲル係数	32. 9 %	30.0 %		
2 類費相当支出額	30, 239 円	45, 449 F		

勤労	世帯
母子・子供1人	母子・子供2人
85,000 円	77, 500 円
110, 397 円	166, 945 🛱
76,009 円	115, 139 円
47, 129 円	70, 335 円
35, 073 PI	51, 326 円
31.8 %	30. 7 %
28,880 円	44, 804 円

資料:総務省(総務庁)「平成11年全国消費実態調査」

		生活扶耳	功基準額
		母子・子供1人	母子・子供2人
生	活扶助	138, 084 円	179, 274 円
	1 類費	69, 621 円	103, 780 円
1	加算	21,998 円	23, 747 円
	(小 計)	91,619 円	127, 527 円
- 7	2 類費	46, 465 円	51, 747 円
再	掲:除加算	116,086 円	155, 527 円

(4) 母子世帯(全国、第11-5分位)

-	' 8	파바		単位		四)
	л	4-13	•	ᆍᄣ	٠	7

	全t	世帯
	母子・子供1人	母子・子供2人
年 間 収 入 額 ÷ 12	182, 625 円	180,618 円
消費支出額	178, 529 円	165,849 円
生活扶助相当支出額	112,621 円	108, 492 円
1 類費相当支出額	66, 611 円	68, 190 円
食料費	42, 579 Ħ	49, 389 FI
エンゲル係数	23. 8 %	29.8 %
2 類費相当支出額	46, 010 円	40, 302 円

勤労	世帯
母子・子供1人	母子・子供2人
181, 284 円	181,006 円
157, 459 円	151, 266 円
98, 120 PJ	102, 250 円
58, 050 円	63, 757 円
38, 598 円	46, 094 FI
24. 5 %	30.5 %
40, 070 円	38, 493 円

	生活扶助基準額				
	母子・子供1人	母子・子供2人			
生活扶助	138, 084 円	179, 274 円			
1 類費	69, 621 円	103,780 円			
加質	※ 21, 998 円	23,747 円			
(小計)	91,619 円	127, 527 円			
2 類費	46, 465 円	51, 747 円.			
再揭:除加算	116,086 円	155, 527 円			

(5) 母子世帯(全国、第Ⅲ-5分位)

(月平均・単位:円)

	全世帯				
	母子・子供1人	母子・子供2人			
年 間 収 入 額 ÷ 12	267, 514 円	260, 190 円			
消費支出額	215, 224 円	200, 532 円			
生活扶助相当支出額	130, 299 円	131, 302 円			
1 類費相当支出額	74, 671 円	79, 596 円			
食料費	47, 586 PI	55, 997 P3			
エンゲル係数	22. 1 %	27. 9 %			
2 類費相当支出額	55, 628 円	51,706 円			

勤	労	世帯
母子・子供1.	7	母子・子供2人
241, 196	Ħ	245、121 円
192, 784	円	198, 357 円
118, 136	円	128,859 円
72, 979	円	79, 205 円
47, 408	Ħ	55, 442 F
24. 6	%	28. 0 %
45, 157	円	49, 654 Ħ

	生活扶助	力基準額
	母子・子供1人	母子・子供2人
生活扶助	138, 084 円	179, 274 円
1 類費	69, 621 円	103,780 円
加算	21, 998 円	23, 747 円
(小計)	91, 619 FJ	127, 527 円
2類費	46, 465 円	51,747 円
再揭:除加算	116,086 円	155, 527 円

資料:全国消費実態調査特別集計(平成11年)

(参 考)

年間収入5分位階級の平均収入額について

(単位:円)

(単位:円)

	J.,	年間収入5分位階級				
	第1	第2	第3	第4	第5	
夫婦2人世帯 (全世帯)	2,803,746	4,435,570	5,736,527	7,676,809	12,970,186	
母子2人世帯 (全世帯・子ども1人)	1,268,998	2,189,092	3,205,964	5,065,477	9,113,701	

資料:全国消費実態調査特別集計(平成11年)

7	年間収入5分位階級				
	第1	第2	第3	第4	第5
夫婦2人世帯 (勤労世帯・有業1人)	2,913,076	4,449,991	5,750,619	7,662,307	11,771,730
母子2人世帯 (勤労世帯・子ども1人)	1,304,304	2,175,779	2,895,912	4,507,179	8,762,476

資料:全国消費実態調査特別集計(平成11年)

母子世帯と夫婦子ども世帯との消費支出(生活扶助相当)の内容比較

[勤労世帯]

		夫婦・子	子供1人	母子・子	- 供 1 人	
		全体平均	第I-5分位	全体平均	第Ⅲ一5分位	
集計世帯数		3,191	644	201	32	
F間収入額		6,273,008	3,196,671	3,702,943	2,895,778	
1か月平	平均額)	522,751	266,389	308,579	241,315	
肖費支出	額	281,189	208,623	204,876	192,772	
上活扶即	相当額	188,608	137,142	121,061	118,136	
1類	相当	115,735	81,024	73,001	72,979	
	食料	63,402	48,292	46,819	47,408	
	魚介類	6,089	4,075	4,070	3,645	
	肉類	5,780	4,864	4,582	4,986	
	野菜·海藻	7,751	5,510	5,126	4,625	
	果物	2,496	1,284	2,018	2,183	
	菓子類	5,516	4,287	4,496	4,230	
	調理食品	5,865	5,116	5,122	4,600	
	外食	11,762	7,701	8,515	10,027	
	被服及び履き物	12,414	8,346	9,494	11,363	
	洋服	5,031	3,893	3,670	5,246	
	シャツ・セーター類	1,989	1,251	1,999	2,275	
	交通·通信	2,406	1,290	2,468	958	
	教養娯楽	5,359	2,257	3,468	2,821	
	教養娯楽サービス	5,359	2,257	3,468	2,821	
[その他の消費支出	32,153	20,839	10,751	10,430	
	諸雑費	6,327	5,356	6,655	5,817	
	こづかい	25,826	15,483	4,097	4,614	
2類	相当	72,873	56,118	48,059	45,157	
	住居	237	280	84	87	
	光熱•水道	17,231	15,298	13,062	12,859	
	家具・家事用品	8,511	6,589	4,769	5,410	
	家事雑貨	2,601	2,032	1,415	795	
	家事サービス	655	495	574	1,479	
[保健医療	4,697	4,225	2,188	2,362	
	健康医療用品・器具	2,871	3,218	943	1,042	
	交通•通信	11,214	10,022	9,817	10,134	
	教養娯楽	15,437	10,998	9,997	6,903	
	教養娯楽用品	5,668	3,887	4,118	2,884	
	書籍・他の印刷物	4,857	3,654	3,256	2,880	
	教養娯楽サービス	3,727	2,862	2,173	1,139	
	その他の消費支出	15,546	8,708	8,144	7,402	
	交際費	13,030	7,046	6,839	6,077	

		(月平均・単位:円)			
夫婦・子	4	母子・子供2人			
全体平均	第 I -5分位	全体平均	第Ⅲ-5分位		
4,519	907	229	57		
6,913,818	3,767,357	4,202,644	2,940,516		
576,152	313,946	350,220	245,043		
302,210	219,073	221,177	198,356		
204,467	147,636	138,841	128,858		
131,143	91,760	85,208	79,205		
73,036	56,330	57,839	55,442		
6,801	4,667	5,348	5,228		
7,524	5,894	6,307	6,741		
8,610	6,133	6,303	6,300		
2,653	1,522	2,316	2,553		
7,205	5,954	5,985	5,890		
6,735	5,873	6,281	6,605		
11,807	7,786	8,692	6,287		
12,820	8,983	9,435	9,077		
4,788	3,774	3,579	3,243		
2,286	1,352	1,642	1,586		
2,037	898	1,473	997		
9,570	4,399	6,776	5,607		
9,570	4,399	6,776	5,607		
33,680	21,151	9,684	8,082		
6,694	5,149	5,706	4,827		
26,986	16,002	3,978	3,256		
73,324	55,876	53,633	49,654		
230	158	88	149		
19,297	16,545	16,021	15,435		
8,055	6,233	5,942	5,517		
2,329	1,810	1,686	1,860		
795	705	563	547		
4,373	4,105	2,600	2,621		
2,328	2,568	1,459	1,583		
10,371	9,167	9,372	9,823		
16,972	11,586	12,112	11,052		
6,489	4,417	5,018	5,443		
4,990	3,604	3,602	3,421		
4,268	2,780	2,414	1,387		
14,027	8,082	7,497	5,059		
11,832	6,859	5,978	4,076		

_		生活扶助	生活扶助基準額			
		母子・子供1人	母子・子供2人			
生活扶助		138, 084 円	179, 274 円			
	1 類費	69, 621 円	103, 780 円			
	加算	21, 998 円	23, 747 円			
	(小 計)	91,619 円	127.527 円			
	2 類費	46, 465 円	51, 747 🖽			
再掲:除加算		116,086 円	155, 527 円			

- 母子子供1・2人世帯(第川-5分位)と夫婦子供1・ 2人世帯 (第1-5分位) を比較すると、生活扶助相当支 出額では1~2万円程度の差がある。
- 格差が多い費目は、1類費相当の「こづかい」と2類費 相当の全体である。
- 「食料」費についてみると、世帯人員の差があるにも関 わらずほぼ同額(母子世帯の方が1~2千円低い)であり、 外食は母子世帯の方が多いという傾向も見られる。
- 「被服及び履き物」費については、世帯人員が少ないに も関わらず母子世帯の方が消費支出額が多い。
- 母子世帯における生活扶助相当支出額と生活扶助基準額 を比較すると、生活扶助基準額の方が高い。

資料:全国消費実態調査特別集計(平成11年)

ひとり親勤労者世帯の消費支出額と勤労者以外の世帯の消費支出額との比較

○ ひとり親世帯の「勤労者世帯」と「勤労者以外の世帯」の家計を比較すると、「勤労者世帯」の方が 全体の消費支出額が少ないにもかかわらず、外食・婦人用洋服・授業料等・補習教育・他の諸雑費 (保育所費用等)・交際費といった特定の費目においては、支出が多くなっている。

(男親又は女親と子供の世帯(長子が中学生以下))

	就又は女親と子供の	勤労者世帯	構成割合 (%) (A)	勤労者以外の 世帯(※)	構成割合 (%) (B)	差額(勤労者世帯- 勤労者以外の世帯)	特化係数 (※※) (A/B)
集計世帯数		294		68		"	
F均t	世帯人員(人)	2. 69		2. 69			
丰間収入(千円)		2, 841		2, 675			
寺ち夏	家率(%)	21. 7		17. 8			
費	支出額	187, 648		227, 026		▲ 39, 378	
食	t * <u>1</u>	53, 480	28. 5	58, 922	26. 0	▲ 5, 442	1. 10
	調理食品	5, 916	3. 2	5, 737	2. 5	179	1. 25
	外食	11, 937	6. 4	11, 030	4. 9	907	1. 31
臼	注居	27, 446	14. 6	45, 046	19. 8	▲ 17, 600	0. 74
光	た熱・水道	13, 505	7. 2	14, 325	6. 3	▲ 820	1. 14
涿		5, 259	2. 8	8, 682	3. 8	▲ 3, 423	0. 73
L	家事サービス	523	0. 3	362	0. 2	161	1. 75
祕	皮服及び履物	11, 499	6. 1	12, 214	5. 4	▲ 715	1. 14
	洋服	5, 328	2. 8	4, 800	2. 1	528	1. 34
	婦人用洋服	2, 896	1. 5	2, 203	1. 0	693	1. 59
	婦人服	902	0. 5	313	0. 1	589	3. 49
伢	R健医療	5, 714	3. 0	14, 475	6. 4	▲ 8, 761	0. 48
	他の保健医療用品・器具	1, 065	0. 6	184	0. 1	881	7. 00
交	を通・通信	24, 709	13. 2	27, 940	12. 3	▲ 3, 231	1. 07
	交通	2, 976	1. 6	1, 921	0. 8	1, 055	1. 87
	鉄道運賃	1, 269	0. 7	768	0. 3	501	2. 00
	自動車等維持費	8, 859	4. 7	9, 949	4. 4	▲ 1, 090	1. 08
_	ガソリン	3, 459	1. 8	1, 902	0. 8	1, 557	2. 20

					3		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	#生/レび ##
			勤労者世帯	構成割合 (%) (A)	勤労者以外の 世帯 (※)	構成割合 (%) (B)	差額(勤労者世帯 - 勤労者以外の世帯)	特化係数 (※※) (A/B)
教育		9, 517	5. 1	6, 765	3. 0	2, 752	1. 70	
Ħ	受業料	等 	5, 158	2. 7	5, 005	2. 2	153	1. 2
	国纪	公立小学校	1, 477	0. 8	967	0. 4	510	1. 8
	国组	公立中学校	1, 683	0. 9	1, 042	0. 5	641	1. 9
	国组	公立幼稚園	945	0. 5	116	0. 1	829	9. 8
ŧ	有習教	育	4, 084	2. 2	1, 607	0. 7	2, 477	3. 0
	幼児	・小学校補習教育	1, 406	0. 7	1, 000	0. 4	406	1. 7
	中等	学校補習教育	2, 678	1. 4	602	0. 3	2, 076	5. 3
教養如	教養娯楽		16, 998	9. 1	19, 191	8. 5	▲ 2, 193	1. 0
*	0養娯	楽サービス	7, 921	4. 2	7, 337	3. 2	584	1. 3
	月割	射類	3, 797	2. 0	3, 282	1. 4.	515	1. 4
		音楽月謝	1, 546	0. 8	700	0. 3	846	2. 6
その作	也の消	費支出	19, 521	10. 4	19, 469	8. 6	52	1. 2
Ħ	里美容	用品	2, 950	1. 6	2, 435	1. 1	515	1. 4
	化制	庄品	2, 078	1. 1	1, 677	0. 7	401	1. 5
ft	也の諸領	維費	3, 604	1. 9	2, 257	1. 0	1, 347	1. 9
	損暑	 	1, 518	0. 8	964	0. 4	554	1. 9
	保育	育所費用	677	0. 4	171	0. 1	506	4. 7
	こづり	かい(使途不明)	1, 905	1. 0	710	0. 3	1, 195	3. 2
3	で際費		5, 153	2. 7	3, 941	1. 7	1, 212	1. 5
	他の	D交際費	2, 332	1. 2	1, 325	0. 6	1, 007	2. 1
		つきあい費	574	0. 3	11	0. 0	563	63. 1
		他の負担費	925	0. 5	253	0. 1	672	4. 4

資料:全国消費実態調査(総務省)(平成11年)

※勤労者以外の世帯には、無職世帯の他に、世帯主が会社等の役員である世帯等を含む。

※※特化係数=各支出項目の、勤労者世帯構成割合(A)/勤労者以外の世帯構成割合(B)